

製品名: Smad1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86652**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,FC 1:200-1:500
分子量	Calculated MW:52 kDa; Observed MW:52 kDa

抗原情報

遺伝子名	Smad1
別名	BSP1; JV41; BSP-1; JV4-1; MADH1; MADR1
遺伝子 ID	4086
SwissProt ID	Q15797
免疫原	ヒト Smad1 の合成ペプチド

背景

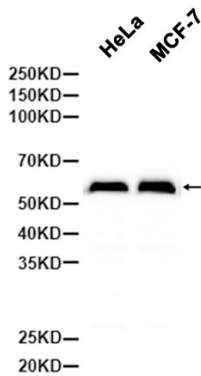
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ショウジョウバエ遺伝子「mothers against decapentaplegic」(Mad) および線虫

遺伝子「Sma」の遺伝子産物に類似したタンパク質ファミリーである SMAD に属します。SMAD タンパク質は、複数のシグナル伝達経路を媒介するシグナル伝達因子および転写調節因子です。このタンパク質は、細胞増殖、アポトーシス、形態形成、発達、免疫応答など、様々な生物学的活動に関与する骨形成タンパク質 (BMP) のシグナルを媒介します。BMP リガンドに反応して、このタンパク質は BMP 受容体キナーゼによってリン酸化され、活性化されます。リン酸化型タンパク質は、転写調節における機能に重要な SMAD4 と複合体を形成します。このタンパク質は、SMURF1 や SMURF2 などの SMAD 特異的 E3 ユビキチンリガーゼの標的であり、ユビキチン化およびプロテアソームによる分解を受けます。同じタンパク質をコードする選択的スプライシング転写変異体が観察されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



Smad1 ウサギモノクローナル抗体を 1:3000 で使用して、HeLa、MCF-7 細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。